

関東甲信越静地区子ども会育成連絡協議会
平成29年度 第2回 子ども会推進研究会

日 時：平成29年9月16日（土）13時～
9月17日（日）12時
場 所：プレジデントホテル水戸

〔第1班の議事録〕

メンバー：橋本輝夫（神奈川県）、上野幸弘（栃木県）、須田貴子（新潟県）、
篠原雄二（群馬県）、青木尚美（茨城県）、関根雅治（埼玉県）

～テーマ「会員数増加のために」～

○第1回会議で抽出した課題と解決策を再度確認し、深掘りして議論を進める
解決策を絞り込み、より実現の可能性を高めることを意識して議論を進める。

▽前回抽出した5つの解決策から絞り込み

- ① PRポスターの作成（関東ブロックJL大会での活動写真を利用して）
- ② 子ども会に加入するメリットについて深く議論する。
- ③ 未加入単位子ども会に対するアピール（加入した場合のメリット）
（対象団体の現状把握と課題等に対する解決策の提供）
- ④ 他の団体に加入している地区を組織ごと入会してもらう。
- ⑤ 新たな枠組みで事業を実施する（例：自治会、老人クラブなど）

これらの解決策の中で、②のメリットについての議論は、今後必要なことではあるが、実現可能な提言にはならない。④の組織ごと入会は、各論であり関ブロなどの広域的な取り組みとしては浸透しない。⑤の新たな枠組みについては、相手側となる団体の考え方やスタンスを調整することは非常に困難であると思われ、さらに共通認識を図るためにはそれなりの時間と手間が必要となる。

▽進めていく議論の方向性

以上のことから①PRポスターの作成と③未加入単位子ども会へのアピールについて、議論を進めていくこととする。

テーマ「会員数増加のために」

第1 RPポスターを作る

- ・子ども会活動中の写真を活用する。

例) 関ブロJL大会時の生き生きとしたジュニアリーダーの姿や三世代が交流している場面など、子どもたちが輝いている姿の写真を主に使用する。

子ども会のメリットは、異年齢集団での活動や野外活動、レクリエーション活動などの様々な体験活動から社会性やコミュニケーション能力や人との関わり方などを身につける大切な機会であることをアピールするような工夫が必要。

- ・ポスター原稿作成については、写真素材の収集も意識してする必要があることから、関ブロJL大会開催地とする。

・作成した原稿データは、各県子連事務局に送信し、必要部数はカラー印刷で書く県子連又は各市町子連が印刷する。(費用負担の分散)

- ・PR用ポスター用のほか、ポスター下部に空欄を設けたバージョンも作成し、会員募集用のホースターとしても活用する。

(空欄には、それぞれの市町子連の連絡先などを掲載できるようにする。)

第2 研修会用DVDの作成

・関ブロJL大会の様子を動画で撮影し、ダイジェスト版のDVDを作成する。作成したDVDを関ブロで共有し、研修会時に上映したり、参考資料として活用する。

(小田原市子連では、年間の子ども会活動を撮影し、ダイジェスト版を作成して、単位子連に配布してどんな活動をしているかのPRに活用している。)

第3 関ブロ共通の「活動のしおり」作成

・新役員、育成者、指導者など、対象者別のしおりを作成し、TPOに合わせて活用できるマニュアルを整備する。

※上記の作成物については、完成後全子連又は各県子連のHP上に貼っておき、各市町子連等がダウンロードして活用できるようにする。